

# 第9回研究大会報告集

## 「コロナと相続」



期日 2021年10月22日・23日

会場 日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

### ごあいさつ



新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、私たちはこれまでの行動様式の変更を求められました。本学会においてもその影響は大きく、当初は困惑いたしましたが、理事会において「コロナに負けない！コロナを言い訳にしない！」という本学会の姿勢を確認し、今だから出来ること、今、発信すべきことに集中して取り組んでいくことを掲げました。

今回の研究大会は、テーマを「コロナと相続」といたしました。しかし、コロナによって相続の根幹が変わることは無いと考えています。これまで、私たちは自由にどこまでも移動し、自由に人に会うという、移動と集合の自由を駆使しながら、有形、無形を問わず様々なものを作り、壊してきました。今回のコロナによって、私たちは、移動と集合の自由を制限されましたが、制限が解かれるまでの間に、これまでの自由な日常生活の有難さを自問する機会を得ました。まさにコロナによって雲が晴れ、物事の本質を見る機会を与えられました。その結果、既得権のように思っていた移動と集合の自由、一人でも生きていいけるという驕りは、有難い、瞬間的なものであることに気づかされました。

私たちは今、コロナによって相続の本質を確認する機会を得ました。今回の研究大会の場で、改めて「円満かつ円滑な相続」を皆様と一緒に探究したいと思います。

一般社団法人日本相続学会  
会長 伊藤久夫



### 学会賞

(敬称略)

本年5月に学会賞推薦の会告を行い、推薦された授賞候補に対して、複数名の専門家による査読審査を実施。その結果を踏まえ、学会賞選考委員会によって厳正な審査が行われ、理事会にて授与が決定されました。受賞おめでとうございます。

#### ●学会賞（著作賞）

著作「不動産相続の法律相談」青林書院 2020.8発行

○編集者:吉田修平

○執筆者:吉田修平・遠矢悟史・竹内裕詞・小池知子・永野達也・

片倉秀次・茂野大樹・宮尾耕平・上里

好平・赤堀文信・大野健一・佐々木好

一・西田誠・水上卓・北村清孝・稻葉

光治・水野菜木・森川紀代・鈴木崇裕

・岩永隆之・友田順



### INDEX

ごあいさつ	1
学会賞	1
基調講演	2
大会シンポジウム	2
研究発表	3
事例研究発表	3
優秀事例研究賞	4
賛助広告	4

**13:30~  
15:00**

## 基調講演 「こころの相続」

基調講演

### ●五木寛之 氏

1932年、福岡県生。戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年、『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞、『青春の門』で吉川英治文学賞を受ける。2002年度第50回菊池寛賞2010年、NHK放送文化賞、第64回毎日出版文化賞特別賞を受賞。小説以外にも幅広い批評活動を続ける。代表作に『風に吹かれて』『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『蓮如』『風の王国』『大河の一滴』『TARIKI』『親鸞』(全6巻)などがある。



作家の五木寛之先生をお迎えし、基調講演をいただきました。編集者との会食の場面からご両親のお話、朝鮮、ポルトガル、ブラジル、大正天皇からDX(デジタルトランスフォーメーション)と、話題を展開しながら「こころの相続」というテーマを掘り下げていく内容で、あつという間の1時間半でした。

相続を様々な観点から掘り下げていく、日本相続学会の研究大会にふさわしい素晴らしい講演でした。(※講演要旨は200字以内に制限されていますので、ご容赦願います。)

### ●アンケート

- ・実は、見えないものの相続が、円満相続か否か、納得相続か否か、の大きな因子になっているのではないかという、貴重な気付きをもらった。五木先生の衰えない好奇心、パワーに感動した。(女性)
- ・89歳という高齢にもかかわらずしっかりとお話しされている姿に感動しました。(男性)
- ・「サウダージ」がないといけないなど、感動の言葉が多く、こころの相続を改めて見直しました。(女性)
- ・とても心にズシッと響く内容でした。講演中もしっかりと立ち、御発声していらっしゃる姿にも大変感動いたしました。経験も含めて自分自身が両親・友人、これまでに関わった全ての人達から相続しているものなんだなと感じ、感慨深くなりました。大変素晴らしいお話を拝聴することができました。(女性)
- ・暗愁、広めたいです。(男性)

**15:20~  
16:45**

## 大会シンポジウム 「コロナと相続」～こころの相続から考える～

○ シンポジスト

### 宮田 百枝 氏

麹町共同法律事務所

### 川原田 慶太 氏

司法書士法人おおさか法務事務所

### 本郷 尚 氏

税理士法人タクトコンサルティング

### 松原 ゆかり 氏

有限会社ビクトリー

### 瓜生 寿子 氏

ブルデンシャル生命保険(株)

○ コーディネーター

### 伊藤 久夫 氏

日本相続学会 会長

(シンポジストの皆さんのコメント)

- ・みえない相続とは、無形の考え方や振る舞いが、家を単位に、あるいは地域、社会、国家を単位として継承していくこと。家を単位にしたときには親子だけでなく、先祖代々も含まれる。
- ・子を見ているようで見ていないのが親。親を見ていないようで見ているのが子。子は親から、生活のなかから、相続を受ける。
- ・気が付くと、親に似ていたということはたくさんあります。特に、社会に出て、自分の未熟さに気づくと、親にもそんなところがあったと思い当たるところがあります。
- ・愛情という感情は、一人では叶わないものだと思います。だからこそ繋いでいくもの。
- ・祖父の言葉は成長過程のなかでは忘れていたように思います。ですが人生の困難な局面で、不思議と思いたしてくるのです。

### ●アンケート

- ・相続実務においても、こころの相続を意識した対応が重要だと確信した。パネリストのお話も魅力的、絶妙なコーディネートで、時間を忘れてしまった。(女性)
- ・「親は子に語るべき」自分もやってないなあ…と反省。でもいざやろうと思うと案外難しいのも、正直なところです。(男性)
- ・それぞれの専門家のパネラーの方々の経験から発せられた発言には含蓄があり、特に本郷先生が発言された、不平等な相続が、暗黙の了解として存在する根底には、「こころの相続」が重視されてこなかったことにも、原因があるのかと思いました。(男性)



## 研究発表 「所有者不明土地問題」

～令和3年民法・不動産登記法改正を相続実務の観点から深掘りする～

日本相続学会は法制審議会発足前から研究部会で研究を行い、パブリックコメントの提出、セミナー開催など研究成果を公開してきました。

本研究発表では、改正法の内容を概観し、設例を使って相続実務にどのような影響を与えるか、「登記・放棄・元気」というキーワードを使って分かりやすく解説されました。また、長期経過後遺産分割での特別受益・寄与分主張制限や相続登記義務など相続実務への影響は大きく、非常に有意義な研究発表でした。



### ●アンケート

- ・所有者不明のキャッチコピー「登記・放棄・元気」とてもポイントがわかりました。所有者不明土地は、山などの開発で必要かと思ったけど、違うんですね。とても勉強になりました。（女性）
- ・今直面しているテーマで興味深く拝聴できました。（女性）
- ・不動産時法改正のポイントが分かりやすく解説されていて良かった。（男性）
- ・前向きに田舎の行政などにも伝えてみたいです。（男性）

## 事例研究発表

事例研究発表 ① 10:45 ~ 11:15	事例研究発表 ② 11:25 ~ 11:55
<b>債務者を信託受託者とする根抵当権の 相続税資金の借入利用の可否</b>	<b>コロナ禍の不動産業界</b>
瀧井 和夫 氏 / 世田谷信用金庫	小林 正宣 氏 / (株)クオリスコミュニティ
<b>円満かつ円滑な相続のための 遺言書付言事項</b>	<b>事業承継の円滑さを決定づける ファミリーミーティングの意義について</b>
伊藤 久夫 氏 / (株)ライフテーブル	角田 祥子 氏 / 税理士法人ネクサス
<b>みなし相続財産の活用法</b>	<b>相続人のライフプランから考える 遺産分割方針の決定</b>
安部 貴史 氏 / プルデンシャル生命保険(株)	赤坂 研史 氏 / クローバーコンサルティング(株)

### ●アンケート

- ・オンラインで視聴。新しい情報に触れることができ有意義であった。（男性）
- ・保険を使った実務が聞けました。ありがとうございました。キャッシュフロー、受け取る側のものを見て考えると違った見方ができるなと思いました。（女性）
- ・付言事項、ファミリーミーティングとも、時間枠を広げてきたいすばらしい内容でした。（男性）
- ・瀧井様：信託設定されている場合の借り入れについてよくわかりました。小林様：コロナ禍の不動産状況についてよくわかりました。（男性）

9:30～  
10:30

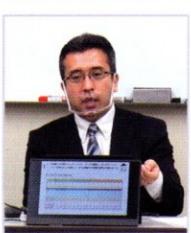
○ 発表者

**小柳春一郎 氏**

獨協大学法学部 教授

**吉田 修平 氏**

吉田修平法律事務所  
弁護士



## 優秀事例研究賞

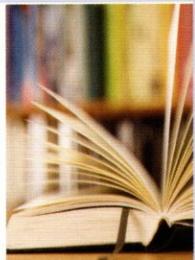
(敬称略)

日本相続学会優秀事例研究賞は、日本相続学会会員の優れた実践活動を掘り起こすとともに、他の模範とすることによって「円満かつ円滑な相続」の社会への普及に寄与することを目的とし、過去2年間の学会誌において相続に関する事例研究を発表し、本学会の発展に著しい貢献をしたと認められる会員に授与します。学会賞選考委員会によって厳正な審査が行われ、理事会にて授与が決定されました。受賞おめでとうございます。



一般社団法人日本相続学会  
2020年度

### 優秀事例研究賞



「高齢者間の相続における諸問題」学会誌第8号掲載

高野 良子 (福田耕治法律事務所)

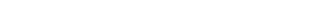
「相続と祭祀承継」学会誌第8号掲載

水上 卓 (日本橋法律会計事務所)

## 賛助広告

(敬称略)

- 株式会社ミロク情報サービス
- 三井不動産レジデンシャル(株)
- 池畠会計事務所
- 司法書士法人
- おおさか法務事務所
- クローバーコンサルティング株式会社
- さくら総合法律事務所
- 税理士法人
- 平川会計パートナーズ
- ブルデンシャル信託株式会社
- 森川法律事務所
- 吉田修平法律事務所
- 株式会社ライフケーブル
- 瀬良社会保険労務士-FP事務所
- ややもり歯科医院



あたたかいご支援を  
いただきました。  
感謝申し上げます。

## 大会実行委員会

今回の研究大会は、新型コロナウイルス感染症予防に配慮して会場参加者を制限しつつ、会場に40名の参加者をお迎えして、オンライン配信とのハイブリッド方式で開催することができました。

基調講演に続き、当学会ならではの実務家として様々な視点からの問題提起、研究発表、事例研究発表など、大変充実した研究大会にすることができました。来年は新型コロナウイルス感染症が収束し、会場により多くの皆さまをお迎えして大会を開催し、懇親を深められることをこころから祈っています。

- 実行委員会: 竹内裕詞 (委員長)・川原田慶太(副委員長)
- ご協力いただいた皆様(敬称略): 池内久徳・池畠芳子・稻岡万貴子・五井泰彦・小林正宣・酒井利直・榎原正則・佐々木元司・茂野大樹・瀬良孝司・高木伸一・田渕公徳・森澤義一

